

平成24年度

広島県中学校「総合的な学習の時間」研究大会



広島市立古田中学校

平成24年10月10日₁



古田中学校区古田台より撮影



瀬戸内海

商工センター

太田川放水路

古田中学校

行者山

古田小学校

西広島バイパス

本年度の在籍生徒数・学級数

平成24年 10月1日現在

	男子	女子	計	学級数
1年	141	136	277	8
2年	161	144	305	8
3年	151	149	300	8
特別支援 学級	2	2	4	1
合計	455	431	886	25

※特別支援学級在籍生徒 1年女子2名 2年男子2名

本校の学校教育のねらい

学校教育目標

明るくたくましく、自ら考え実行し、思いやりのある生徒の育成

ESD(持続発展教育)

みんなが幸せで平和な社会を実現するために、自分が何をすべきか何ができるかを考え実行する生徒の育成

探究的な学習を志向した
「総合的な学習の時間」の取組

提言型探究活動

新学習指導要領のねらい

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- 知識・技能を活用して
課題を解決するために必要な
思考力・判断力・表現力等の育成
- 主体的に学習に取り組む態度
(学校教育法30条2項)

「総合的な学習の時間」

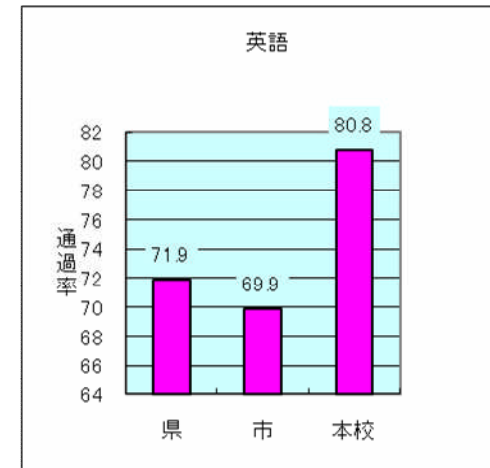
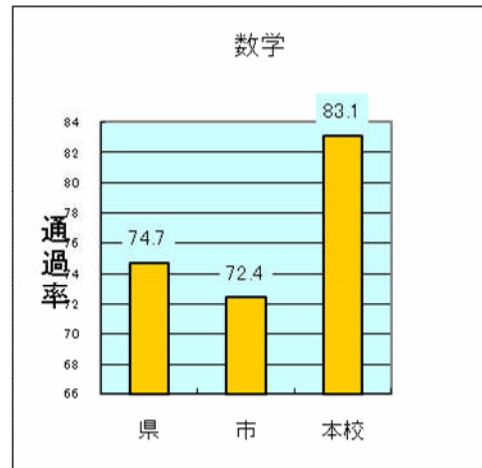
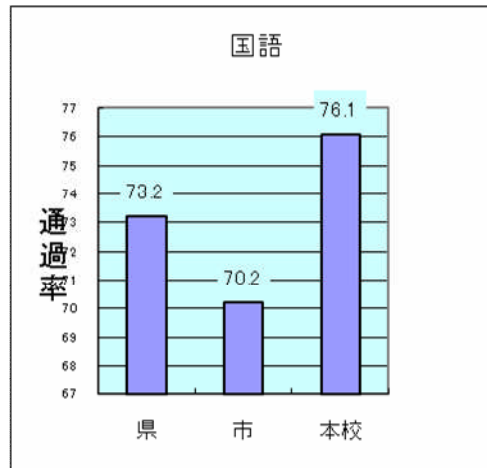
問題の解決や探究活動に
主体的, 創造的, 協同的に
取り組む態度を育てる

本校生徒の実態

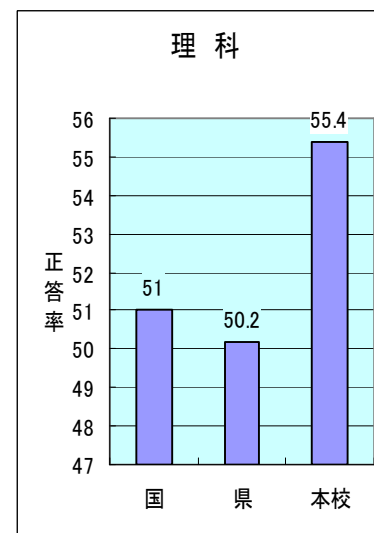
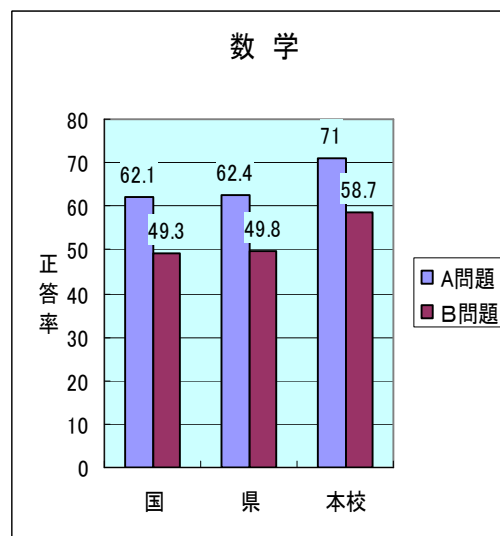
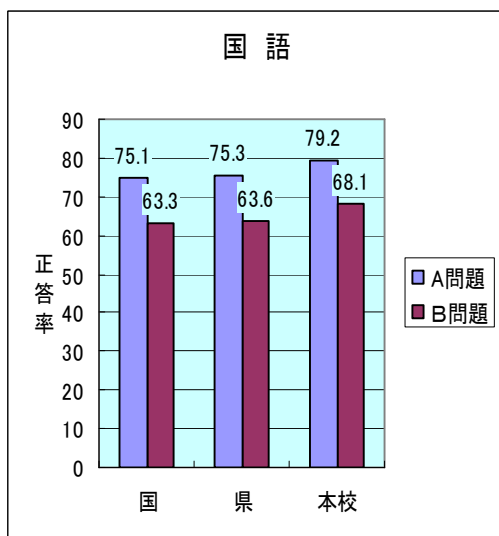
○素直で明るく落ち着いた学校生活をおくっている。

○基礎的・基本的学力は概ね身に付いている

基礎基本定着状況調査(平成23年度)



全国学力・学習状況調査結果(平成24年度)



本校生徒の実態

○「自ら考え実行する力」が弱い

○自己存在感・自己効力感・自己有用感が低い

ESD(持続発展教育)のねらい

みんなが幸せになれる社会の実現化

持続可能な平和な社会の担い手づくり

今の私たち何ができるか・これから先何をすべきか

ESDシステムマップ

特別活動

- CDPO校 (東) 親和交流
- イクスプローリスミドルスクール(米) 課題研究交流
- ブレアエンハイスクール (東)
- フーチンセカンドリースクール(星)
- イクスプローリスミドルスクール(米)・広大東雲中 国際ミーティング
- オデッセイミドルスクール(米)・広大東雲中

- ユニセフ募金、カンボジア支援 支援活動
- 緑の羽根募金
- 平和行進清掃 清掃活動
- 地域ふれあい清掃

- 望ましい人間関係作り
- 集団を改善する態度の育成
- 課題を解決する自主的・実践的態度の育成
- 健全な態度の育成

- APU留学生との交流
- 農村民治体験

道徳

- 他の人との関わり
- 自然や崇高なものとの関わり
- 集団と社会との関わり

- 地球温暖化問題 気象予報士(TSS 渡田健一さん)
- 食糧問題 西条農業高等学校(石井朝子さん)
- 平和・内戦・飢饉・震災 カンボジアNGO(東和空さん)
- 平和文化・戦争文化 平和文化センター(リーバーさん)
- 伝統文化
- 広島在住

総合的な学習

表現(発信)方法(日本語版・英語版による提言・レポート作成)

- イクスプローリスミドルスクール(米)
- ブレアエンハイスクール(東)
- フーチンミドルスクール(星)
- オデッセイミドルスクール(米)

ESD

ねらい・主旨

- みんなが幸せになれる社会の実現化
- 持続可能な平和な社会の担い手づくり
- 今の私たちに何ができるか、これから先何をすべきか。

- 課題を見つけて、考えることができる。**思考力**
- 考えた中身に価値や意味を見いだせる。**判断力**
- 自分の考えを他人に伝えることができる。**表現力**
- 自分の考えを他人に伝え、他の考えを受容し、さらに発信できる。**コミュニケーション力**
- 課題解決のために、自分のできることを行動化することができる。**行動力**

教科

教科 (知の総合化)

- 国語** 適切に表現し、正確に理解する能力の育成
論理的思考、多文化共生、多面的総合的批判的な見方
- 社会** 我国・世界の社会情勢、地歴・政経を理解する能力の育成
国際理解、多文化共生、社会事象、政治・経済
- 数学** 事象を数理的に考察し表現する能力の育成
日常生活や考え方に基づいて、思考・判断する活動力と態度の育成
食糧・食糧問題、生物多様性
環境問題の理解と豊かな感性の育成
- 音楽** 国際理解、多文化共生
- 美術** 我国、世界の美術文化の理解と豊かな感性の育成
国際理解、多文化共生
- 保健体育** 明るく豊かな生活を営む能力の育成
国際理解、食糧・飢饉問題、健康問題
- 技術・家庭** 生活を工夫し創造する能力の育成
エネルギー・環境問題、社会福祉・食糧・飢饉問題、情報収集・発信
- 英語** 英語によるコミュニケーション能力の育成
国際交流、国際理解、多文化共生
- 言語数理 (思考・判断・表現)** 各教科で身に付けた知識・経験と関係付けて思考・判断し、自らの考えを適切に表現する能力の育成

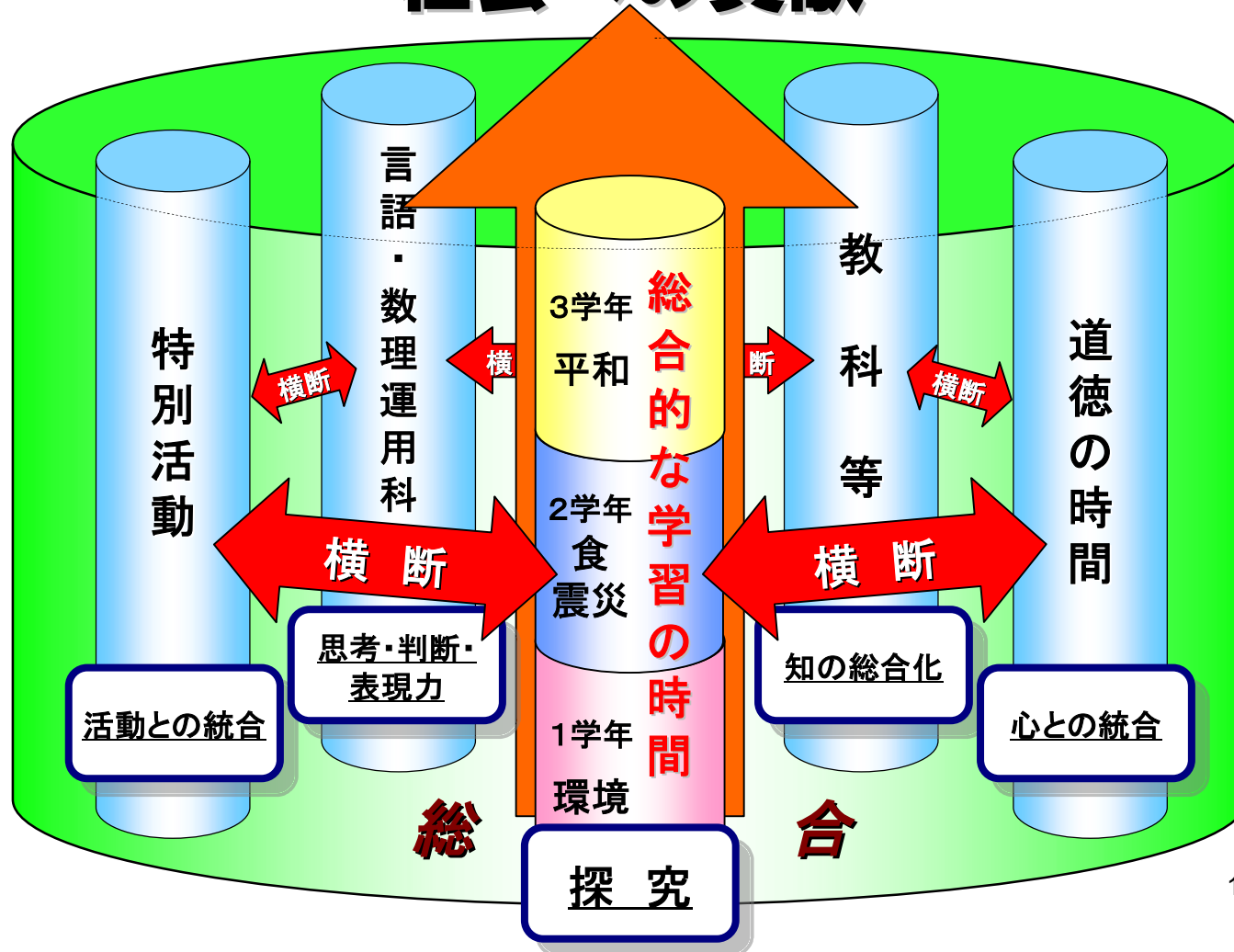
ESDカレンダー

前	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月							
教科領域	前期														
国語	Q紙野次を書く	Q雑誌し文章を書く	Q記者会見スローを作る	Qもっと「読む」意識を高めよう	E平和で持続可能な社会に向けて(市教育平和教育プログラム)	E原爆の写真に寄せて(執筆)	E人間と社会の関わり(執筆)	Q話し合いを効果的に進めよう	Q文章の形を整えよう	Q新聞の社説を比較する	Q社会への意見をまとめる				
社会	E二度の世界大戦と日本	EF戦後の日本の課題 ・教育(すべての子どもに教育を) ・労働から学ぶ ・高度経済成長の光と影	ABEより未来に向けて (日本の国際的役割) ・PKO ・環境問題	E核実験をめぐり 世界に向けての取り組み(市教育平和教育プログラム)	E国際平和に向けての取り組み(市教育平和教育プログラム)	D現代社会と生活・文化・考え方の多様化 少子高齢化文化の多様化	D人物と社会について考えよう	F国際社会と世界平和(パレンシア)			よりよい社会をめざして(持続可能な社会の探究・レポート作成・社会参画)				
数学		Q論理的思考(式の計算の利用)	Q学習の記録(数学マイン)	Q論理的思考(平方根)	Q数学の歴史(円はなぜ分らない?)	Q論理的思考(2次元に比する図形の利用)	Q生活と数学(地球温暖化問題を数式で考えよう)	Q論理的思考(相似の利用)	Q生活と数学(算数用具について知る)	Q数学の歴史(算数について知る)	Q数学のレポートを書く(三平方の定理のいろいろな証明)	Q算数調査とその利用(学校外での時間の過ごし方)			
理科	Bクローン・遺伝子組み換え		Bイオン化 リチウムイオン電池	B放射性物質は危険 下の雨		B身のまわりにある力の分解	B理解力を小さくする工夫	Bいろいろなエネルギーを求めよう	B地球温暖化・宇宙の発展	B理解を深めよう	B食物連鎖・生態系の浄化(下水処理場)	B地球温暖化(水質汚濁・大気汚染)	B火山や地震と生活	B持続可能な社会をつくるために	Bかけがえのない自然の恵み(資源活用)
英語	A日本とイギリスの異なる習慣(学校のチャイムとBig Ben)	B日本の火山	B日本のごみ問題(BRa)	Qインスピレーション(My Project)		E競争の激化した動物たち	AD世界での日本の広がり(回転寿司)	D日本文化紹介(マンガ、けん玉)	D英語で友達	Q伝統文化を説明しよう(My Festival)	A山本敏晴さんのボランティア活動(二番大切なものは?)	Bグリーンエネルギー	Eマザーテレサの功徳	Q自己PRしよう(My Project)	
総合	D地域の文化を体験し、その価値を知る EFカンボジアの歴史を知ろう Q日本の技術力 課題の設定 → 情報の収集 → 整理分析 A地域の方や海外の人々に報告しよう プレミアムパビリオン(カンボジア)イクスプロールパビリオン(アメリカ) Q学級シンポジウム														
宗教	Q食料自給率(広島県の食料を育て、地産地消)	E平和への思い(自分で平和への思いを考えよう)		B環境を悪化させない取り組み(広島市の自然環境を保護しよう)		F人口問題・少子化対策(未来のための提案)									
特別活動(生徒会活動・学級活動)	B生徒会役員選挙 省エネナビ エネルギー問題を考えよう	B級の羽根募金	B校内ボランティア清掃(学級単位)	E平和行進準備ボランティア(二重中と連携、執行部)	Aカンボジアとの国際ミーティング①	B地域ふれあい清掃	B校内ボランティア清掃(部活単位)	Aカンボジア支援	Aユニセフ募金(ユニセフ広島支部と連携募金)	Aカンボジアとの国際ミーティング②	A調査発表(オデッセイイクスプロールパビリオンへ報告・Eメールを利用)				
道徳	BE種鳥ひまわり風車プロジェクト	E認知症についての理解学習		E核爆体験「My Hiroshima」	Eもっとも慮すべきことは「マザーテレサ」			Eキッズ牧師の願い							
音楽美術	Q創作(アンサンブルの楽しみ)	Eデジタル(生きる)	Qメッセージを伝える(健康ポスター)		D総合芸術(バレエ・オペラ)	Q曲のよさをプレゼンテーションしよう	D日本の伝統音楽(民謡・童謡)	A世界の諸民族の音楽	D音楽史ルネサンス美術鑑賞・日本文化との相違	Aポピュラー音楽(ロック・ジャズ)	A環境を壊して影響し合う音楽	D国歌「君が代」			
保健体育	E健康な生活と病気予防 健康の成り立ち・健康問題・感染症とその予防・共に健康に生きる社会・WHO D報道(放送) Q国際的なスポーツ大会とその役割・人々を結びつけるスポーツ・スポーツと健康														
技術家庭	Bエネルギーの有効利用(電圧・電流の測定と伝達)	B風呂のマイアヒール(SR)	Bエネルギー資源の循環(再生可能なエネルギー)	B農産物に関する物理管理とエネルギー利用の移り変わり	B生物育成技術と共生生活(ニース・広島・高遠学級)										
その他	E人間の育ちの始まり	Fわたしたちの成長と健康・地域			E幼少の生活(児童養育・子どもの権利条約)										

【ESDカテゴリ分類記号】

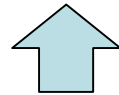
作文コンテスト(10点の中から1人1題選定・応募)
 (E: 全国中学生人権作文コンテスト, F: 「社会を明るくする運動」作文コンテスト, A: JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト, F: 製についての作文, 他6点)

社会への貢献



『生きる力』

自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力



知識・技能を活用した「探究的な学習」

提言を発信する



「私は～する」
「私たちが～しよう」

学習内容

平和な社会の実現のための提言を発信しよう

(3年：35h)



食や飢餓に関わる社会問題の解決を考えよう (18h)

震災に関わる社会問題の解決を考えよう

(2年：17h)



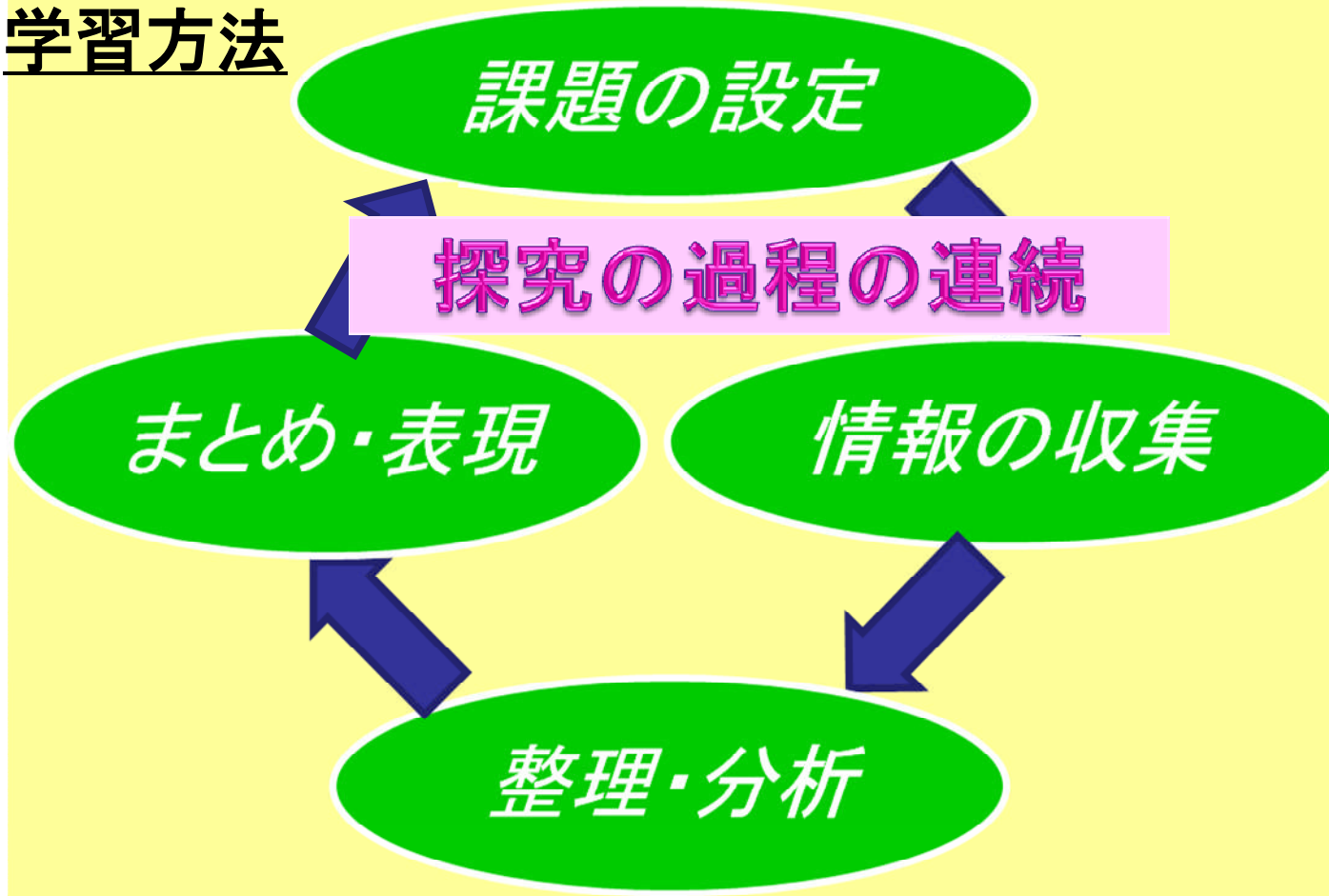
地球環境の課題を自分たちの生活をもとに考えよう

(1年：15h)

各学年のスパイラルアップ

	第1学年	第2学年	第3学年
論理 (内容)	根拠を明確にして理由を示す	<u>提言・理由・根拠の整合性</u> ・根拠の妥当性 ・整理分析の手法 ・根拠の量	<u>提言・理由・根拠の整合性</u> ・根拠の妥当性 ・整理分析の手法 ・根拠の量
表現 (方法)	意見交換会 (資料を示して説明)	ポスターセッション (資料や発表の手順を工夫した提案)	対象に合わせて発表方法を決める (相手意識や目的意識を持った論理的な発信)
公開授業の 学習段階	表現の段階 (プレ発表会)	表現の段階 (プレ発表会)	整理・分析の段階 (中間検討会) ₂₀

学習方法

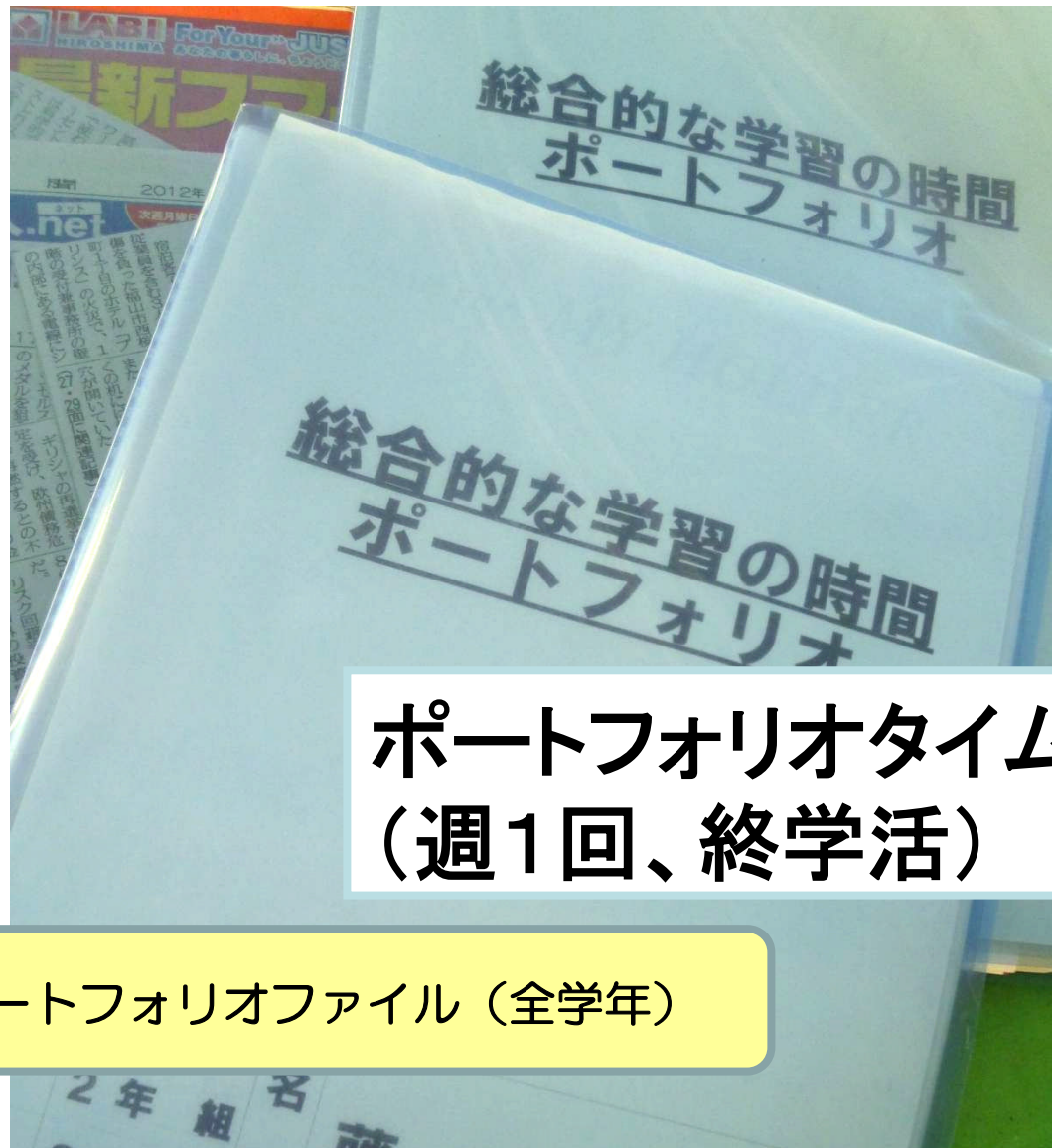


探究的な学習4つのサイクル

課題の設定のポイント

身近な生活や社会の問題から自分が
「解決したい」意識を持って研究テーマ
を見つける

研究の見通しを持つ



ポートフォリオタイム (週1回、終学活)

ポートフォリオファイル (全学年)

温暖化と地球（1年生）
課題への気づき



ゲストティーチャーの活用 24

震災についてパネルディスカッション
(2年生) 課題への気づき



平和について考える～広島平和文化センター リーパーさん～
(3年生) 課題への気づき



課題設定 (2年生)
課題へのいろんなつながり



課題の設定から情報の収集へ
(2年生) 仮説を立てる

<研究テーマ>
電力不足の解決のためには、
原発しかないのだろうか

<提言>
これから原子力発電所をなく
していき、環境に優しいエネ
ルギーによる発電をしてい
べきだ

<情報④>
他県や外国の政策

<情報⑤>
いろんな発電方法

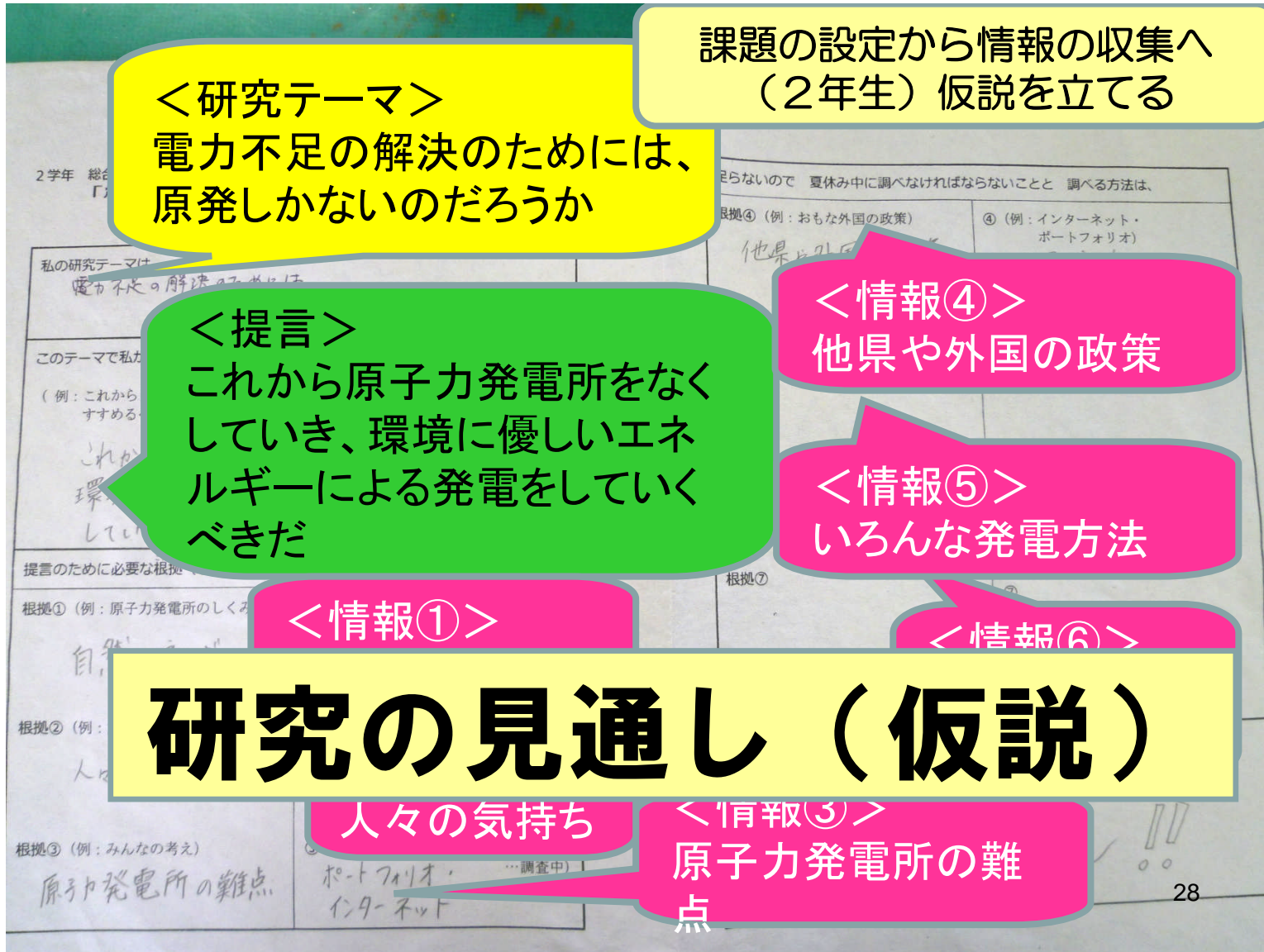
<情報①>

<情報⑥>

研究の見通し (仮説)

人々の気持ち

<情報③>
原子力発電所の難
点



情報の収集のポイント

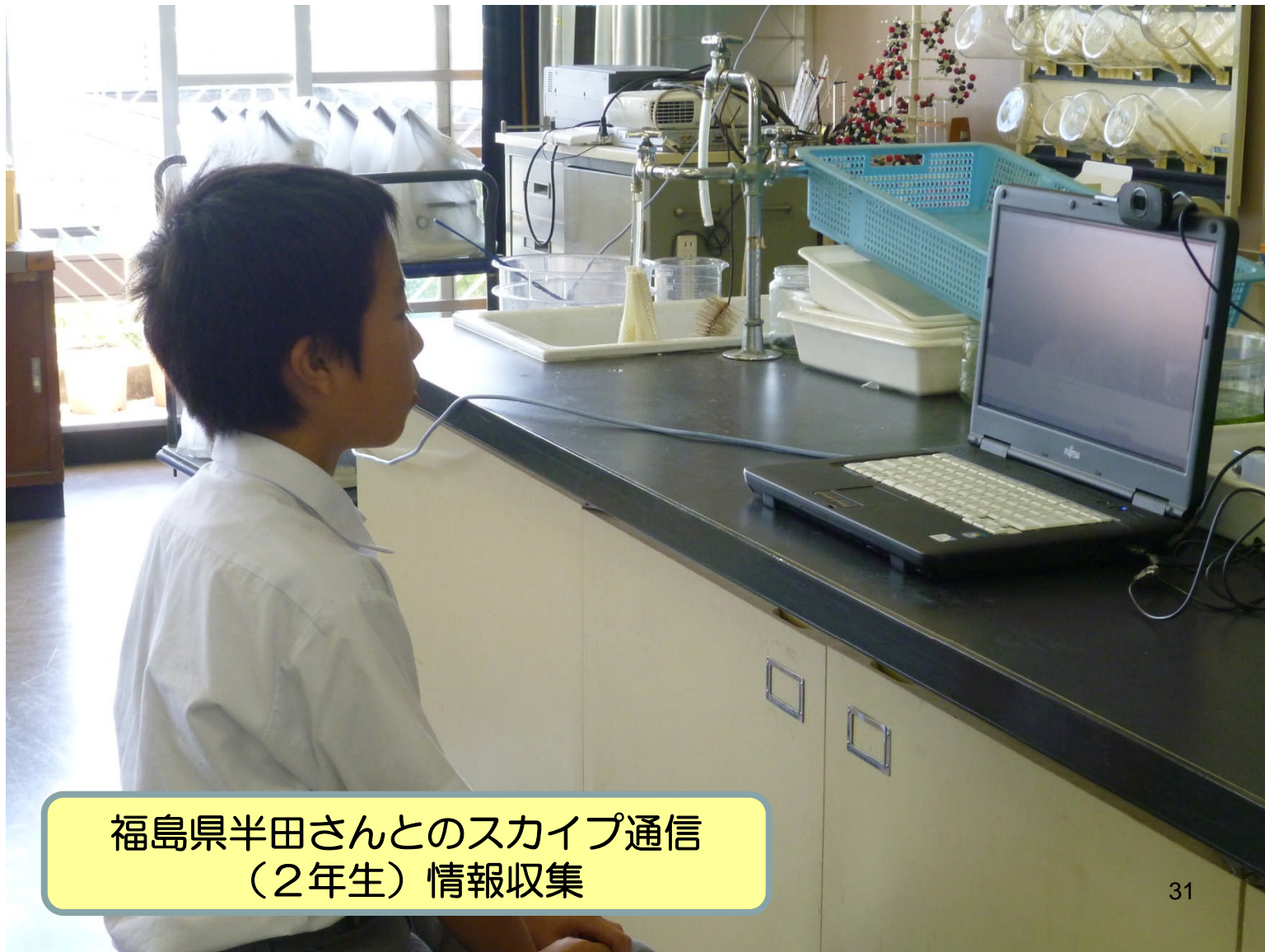
情報材料の特徴を活かす

- ・通信(スカイプ・Eメール・手紙など)
- ・検索, 収集(ポートフォリオ・実験、
観察・インターネット・図書室など)
- ・直接(アンケート・インタビューなど)

情報を肯定的・批判的の両面から捉える

学校にてゲストティーチャーにインタビュー
(2年生) 情報収集





福島県半田さんとのスカイプ通信
(2年生) 情報収集

平和公園にて外国の方にアンケート
(3年生) 情報収集





平和公園にて日本の各地の方々にインタビュー
(3年生) 情報収集

整理・分析のポイント

集めた情報のから必要なものを選び、
考察を加えて、提言の根拠とする

情報 いる or いない？



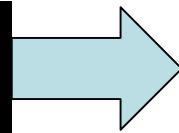
表・グラフ・図式にするなど..

提言に向けて、根拠を明確にする

○言語・数理運用科とのリンク

- ・比較して考える
- ・分類・整理して考える
- ・関連付けて考える
- ・類推的に考える など

情報



提言の根拠・理由

まとめ・表現のポイント

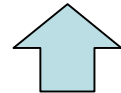
発信対象

発信内容

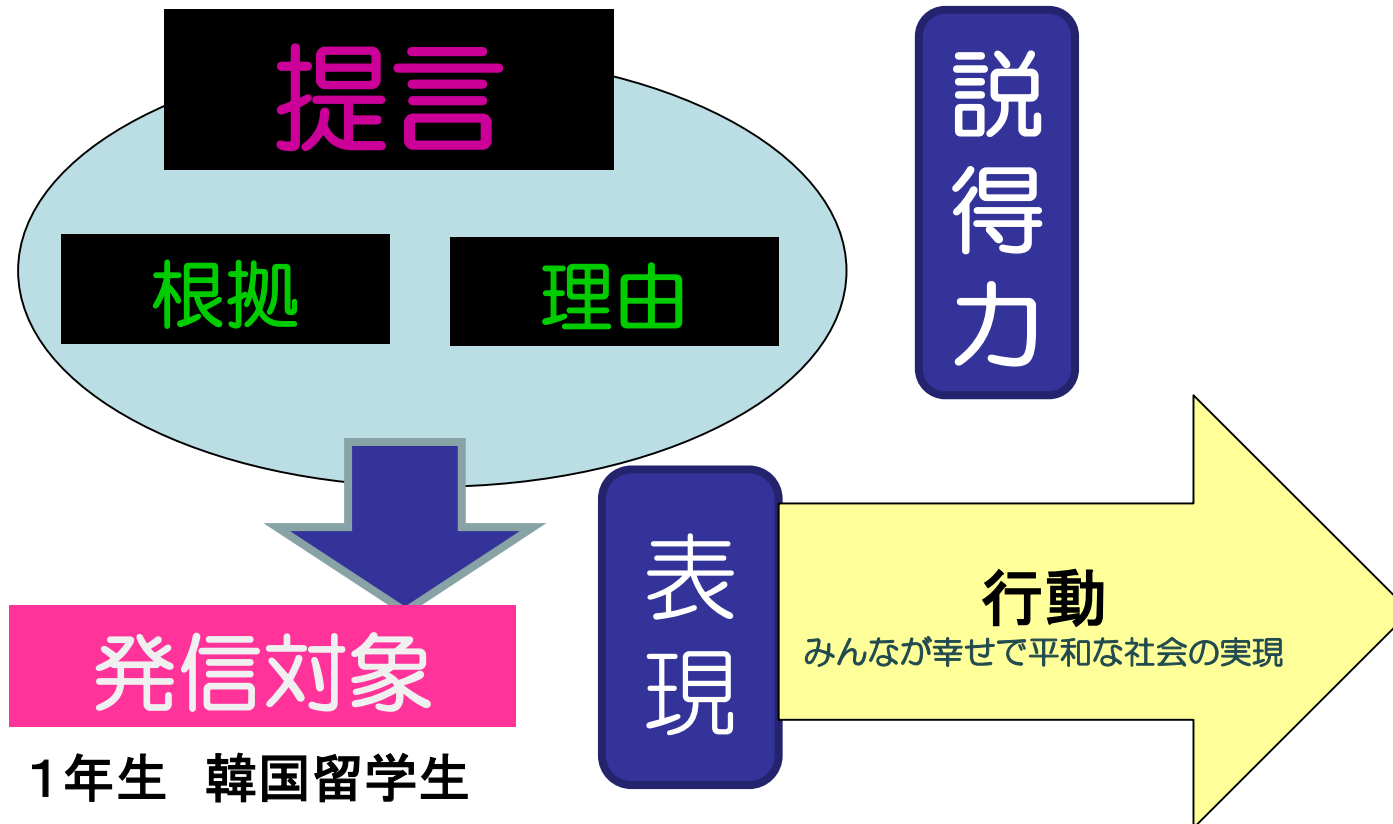
発信方法

説得力がある

わかりやすい



コミュニケーションやディスカッションを通して他者の意見を聞き、自分の考えを修正する

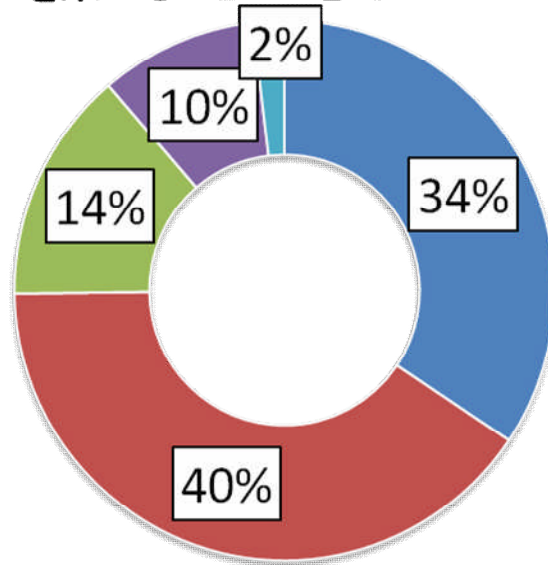


- 1年生 韓国留学生
- 2年生 APU留学生(修学旅行)
- 3年生 対象を自分で決めていく

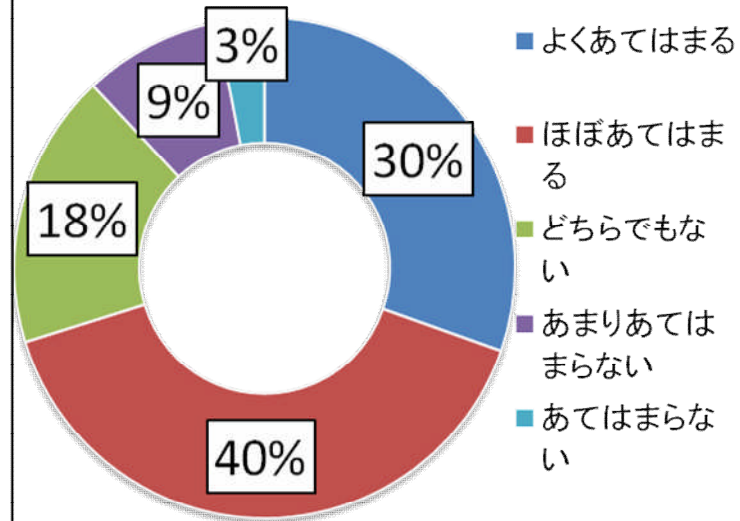
成果

- 本校総合的な学習の時間の
ねらいの確立
- 生徒の変容
- 教師の協同性

新聞・インターネットの記事や本を読んだり、ニュースをメモしたりするなどして、必要な情報を集めることができた



必要な情報を、グループの仲間(あるいは学校外の人たち)と協力して、集めることができた



課題

- ・社会の関心が低い
協同して活動していない生徒(1割強)
- ・韓国, APU留学生との交流への見通し
や楽しみがまだ持てない生徒(2割強)

※今後の指導展開の工夫

※継続した研究推進

A grayscale photograph of a modern building courtyard. The building is a multi-story structure with a grid-like facade and numerous windows. In the center of the courtyard, there is a large, leafy tree. In the foreground, there is a circular planter filled with various shrubs. The overall scene is captured in a wide-angle shot, showing the courtyard's layout and the surrounding architecture.

ご静聴ありがとうございました